

学校概要

創立 16 周年	学校長 菅原 恵市	副校長 吉田 茂樹	学期 2 学期制	児童・生徒数 694 人
学級数 一般級: 21 個別支援級: 3			主な関係校: 東山田中学校	

学校教育目標

- 一人ひとりが かがやく 東山田小
- 学び続ける子ども…学習の基礎・基本を着実に習得し、積極的・発展的に学び続ける子どもを育てます。(知)
 - 自分を創る子ども…生命を大切に、社会の一員としての姿勢や資質を身に付け、社会のために行動する子どもを育てます。(体・公)
 - 共に生きる子ども…思いやりをもち、様々な人とのコミュニケーションを通して、社会の視野を広げる子どもを育てます。(徳・開)

学校の特徴

- 港北ニュータウンとして造成された土地につくられた比較的新しい学校である。古くからの地域もあり、寺や神社、里山も見られる。また、多くの公園、商店街や町工場地域もあり、生活科や総合的な学習など、学習の材が多い。
- 学校に協力的な保護者が多く、PTA活動ではベルマーク回収・資源回収、広報誌などで市や県からも表彰されている。
- 教職員は、協働して授業づくりや児童指導を行っていく姿勢があり、チームとしてまとまっている。
- この5年間で児童数が300人近く減少している。学校経営組織改革や学校教育活動の見直しが必要である。

学校経営中期取組目標

- 家庭や地域と連携しながら、子どもが自信をもって活動している活気あふれる学校をつくります。
- ・基礎学力の定着と学力向上や課題解決学習に向けて、チーム力で授業改善と指導力の向上に努めます。
- ・子どもの自己肯定感を高めるために、一人ひとりに寄り添った支援を行っていきます。
- ・健康な体づくりや体力向上をめざして、運動や食教育を計画的に実践していきます。
- ・中学校、幼稚園、保育園、異学年との交流を積極的に行い、豊かな心の育成と滑らかな接続に努めます。

小中一貫教育の取組

東山田中学校 **ブロック** : 東山田中学校、東山田小学校、山田小学校、北山田小学校

9年間で育てる子ども像

- ◎磨く 認め合う つながる
- 小中一貫カリキュラムを基に、自分を磨き、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育みます。

自校の具体的取組

- ・校内重点研究では「生活科・総合的な学習の時間」を通して、自信をもって取り組める自分づくりを進めます。
- ・地域や中学校、コミュニティハウス等の行事に本校の児童が参加するよう、周知したり、教職員自ら参加したりして、中学生や中学校の職員、地域の人とつながるようにしていきます。
- ・授業研究、特別活動、生活指導、健康安全の四部会をリーダーを中心に小中一貫教育を推進します。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>確かな学力</p> <p>担当 学校評価、重点研推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的学力を定着させ、思考力・判断力・表現力の向上をめざし、学習意欲や主体性を育む授業づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①スキルタイムを週に3回行い、基礎的学力の徹底を図る。②3～5年の算数はサポート教員が入り、きめ細かな指導ができるようにする。③重点研のテーマを「自分らしさを表現し、よさを認め合う子どもの育成」と設定し「生活科・総合的な学習の時間」を通して主体的に問題解決する中で、自分の感じたことや考えたことを表現する活動を設定する。
<p>豊かな心</p> <p>担当 道徳部、人権教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通して、自他のよさや違いに気付き、互いを尊重する気持ちや態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①異学年交流、ふれあい給食、幼保中との交流、地域行事への参加などを通して、人のかかわりを重視し、自尊心の向上を図る②落ち着いた学校生活が送れるように周りの人のことを考えて行動できるように、道徳の授業、人権週間での中学校との連携などを通して、心の教育を常に推進する。
<p>健やかな体</p> <p>担当 体育部、健康・食教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭とも協力し合い、「早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき・運動」の習慣を身に付けていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童保健委員会が「全校元気会議」集会を行い、健康についての取組目標を決め、学級・学校全体で実践していく。②児童給食委員会が「空っぽ週間」を設定し、給食をよくかんで残さず食べるよう啓発していく。③学級指導では「運動と食の大切さ」を学年に応じて指導する。
<p>児童生徒指導</p> <p>担当 児童指導・特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解を共有し、学校のきまりに基づいた指導に学校全体で取り組み、いじめの防止や早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①あいさつ、右側歩行、清掃活動など、基本的な生活習慣を丁寧に指導していく。②児童指導専任を中心に「東山田小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止、早期発見、迅速な指導の意識を高くもつ。③学年担任、専科教員等が「学年チーム」として、学年の児童全体を指導していく体制で、複数の教員が児童一人ひとりにかかわっていく。
<p>安全管理</p> <p>担当 防災・安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な危険や危機を想定した学習や訓練を行い、自助力を高めるとともに、危険を予測し、回避する能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①大地震を想定し、児童の落ち着いた行動(自助力)、保護者の動き、教職員の迅速な対応のスキルアップを図るため、災害時に役立つ実践的な避難訓練や引き渡し訓練を実施する。②登下校の安全のため、登校班会議や交通安全指導を行い、交通事故の防止に努める。③チェックリストに基づいて、学校内の安全点検を教職員が分担して毎月一回行う。
<p>地域連携</p> <p>担当 地域行事連携担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方に協力していただき、地域の皆さんがいつでも学校に来ていただける、開かれた学校づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生活科・総合的な学習に時間を中心に、保護者や地域の方から学ぶ機会をつくる。②東山田中学校区学校支援地域本部・地域コーディネーターと連携して、児童の学習支援ボランティアと協働して学習指導をおこなっていく。③教職員は学区について理解する研修会を年間を通して行う。
<p>特別支援教育</p> <p>担当 児童指導・特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童個々の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を学校全体で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①特別支援教育の推進のために、校内支援体制の整備を行う。②特別支援教育について、教職員の知識と指導力の向上を図るための研修を年間2回行う。③関係機関との連携を進め、実践的な支援・指導につなげていく。④特別支援コーディネーター研修に、毎年1名以上が参加し、特別支援教育への理解を広げる。
<p>人材育成・組織運営</p> <p>担当 研修担当・主任・メンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスを遵守し、職務の遂行に努めるとともに、自己のキャリアステージに応じた目標設定をし、授業力を高められる教職員組織にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①経験の少ない教員へ経験豊かな職員による指導の日常化を進める。②6年目教員が中心となったメンターチームでは自ら様々な研修を行い、教師としての資質向上、授業力向上、児童理解力向上等に努める。③教職員が互いに情報交換したり、研修したりしやすい職場の環境づくりや校務の効率化を推進し、活気ある教職員組織をつくる。